

# 会報 埼玉雑来

4・5月号

令和3(2021)年

第70巻 第3号

令和3年5月15日号

隔月15日発行

1部100円

発行所

一般財団法人 埼玉県人会

東京都台東区上野6-16-16

黒田ビル8階 801号室

電話 03(3834)2091(代)

振替口座 00160-6-61042

<http://www.saitama-kenjinkai.or.jp/>

印刷所

関東図書株式会社

さいたま市南区別所3-1-10

電話 048(862)2901

## CONTENTS

### 埼玉県政ピックアップ 渋沢栄一創業プロジェクト

- 寄稿・西の川越、東の岩槻
- 会員近況
- リレー随筆 連載⑦ 埼玉スキ!イヤ?
- 埼玉県の春の人事、贈られた本
- 春の叙勲・褒章、お知らせ、新入会員



埼玉縣人会

天空のポピー



・名知仁子さん（ミャンマーファミリー・クリニックスと菜園の会（NPO）代表理事）から2月に続き、4月22日に現地からのお便りが届いたのでご紹介します。（MFCOG <http://mfog.or.jp>）

お母さん 泣かないでください！  
第二次世界大戦中の特攻隊の方のお話ではありません。現在、ミャンマーで起きている国軍によるクーデターに対し、自分たち、市民の人権を取り返すため、非暴力で抵抗している20歳代の若者の両親への言葉です。いつ死んでもおかしくない状況！ほんとに21世紀なのか！と疑うほどの非暴力を貫いている市民へ、国軍のこれでもかというほどの弾圧！

2月1日（月）に突然起こったミャンマーでの国軍によるクーデ



非暴力で国軍の銃撃に立ち向かうジェネレーションZの青年たち

ター！ その状況は日一刻と激変し、深刻に悪化している。1988年のクーデター、2007年のサフラン革命、その後、2011年民政移行になり、国をあげて、民主化を進めていたこの10年間。10年後の今年。2021年、クーデター！ 3月22日ごろから市民への銃撃がひどくなり、3月27日（日）「国軍記念日」首都のネピドーでは盛大な式典が国軍によって開催された。同日、カレン州への空爆が繰り返され多くの人が家を失い、家族を人命を失った！ この国軍の無差別殺人に対し、市民は非暴力で抵抗している。催涙弾には水をかけて抑えたり、花火を投げ込んだりして抵抗している。

71日間で710人！ これがこのクーデターで亡くなった方の数です。彼らは本当に死ぬ必要があったのでしょうか？ 自分の命をかけて自由という、人権を取り戻そうとしているミャンマーの市民を是非 応援して頂ければと感じています。

2020年のオリンピック開催予定だったミャンマーの選手村は埼玉県の予定でした。それだけ縁が深いと感じています。

この抗議デモの市民の活動の中心は20歳代の若者たちです。彼らはジェネレーションZと言われ、SNSを駆使し活躍しています。リーダーになると拉致され、拘束されてしまうので、全員リーダー、全員メンバーというスタンスでお互いに連絡を取りながら抗議を展開しています。

それも3月15日のSIMカードのインターネット遮断。さらに、4月2日からのファイバー以外のインターネット遮断により現状が世界に公表される機会を極端に失っています。

国の未来を創るのは その国の人たちです！ それは日本もミャンマーも変わりません。同じ地球上に住む人間として「自分とあなた」というスタンスから「私たち」という、みんな地球を創っていくことができるようにしたいと感じています。なお、この市民による非暴力の闘いは2022年ノーベル平和賞候補になっています。

MFCOGは2月だけ活動を休止しましたが、3月1日から再開しています。なぜなら、農村で無医村に住む人々の健康は徐々に悪化していくからです。応援をどうぞよろしくお願い致します。